

子どもの医療費助成を拡充 妊婦健診全額公費負担を国の責任で など

新婦人が
県に要請

子育て支援 充実して



県の担当者(右高)に要請する新婦人の人たちとゆり子嬢議(右から2人目)＝11月25日、県庁

子ども連れのお母さんが訴え

11月25日、新日本婦人の会山形県本部が、県に対し、子育て支援事業拡充について要請。懇談し、私も同席しました。要請は、乳幼児医療費助成の所得制限の撤廃と対象年齢

方向性を示している。妊婦健診の公費負担について、奥山隆一・母子保健福祉主幹は、「医療機関や健診内容により一律ではなく、困難な面があるが、何添厚労相は公費負担実施の方向性を示している。

「所得制限や一部負担金は、ある程度必要と考えている。対象年齢の引き上げについては、実施している自治体の状況など勉強している」と。国への制度化の要望を、これももやもやしたが、今後おこなっていく」と述べました。

「山形県ともども、加した母親は、大変助かっていたのに、小学生になるまで医療費がかかるようになる。ぜひ、対象を小学生まで広げてほしい」と要望しました。これに対し、酒井俊昭・国保主幹は「所得制限や一部負担金は、ある程度必要と考えている。対象年齢の引き上げについては、実施している自治体の状況など勉強している」と。国への制度化の要望を、これももやもやしたが、今後おこなっていく」と述べました。

乳幼児医療費助成について、幼児を連れて参加した母親は、「大変助かっていたのに、小学生になるまで医療費がかかるようになる。ぜひ、対象を小学生まで広げてほしい」と要望しました。これに対し、酒井俊昭・国保主幹は「所得制限や一部負担金は、ある程度必要と考えている。対象年齢の引き上げについては、実施している自治体の状況など勉強している」と。国への制度化の要望を、これももやもやしたが、今後おこなっていく」と述べました。

こんにちは
渡辺ゆり子
12月定例県議会

2008年12月7日
第53号
発行
日本共産党県議会議員
渡辺ゆり子
〈連絡先〉
日本共産党県議団執務室
電話 023-630-3241
自宅・山形市南田2-10-5
電話 023-642-2365

12月定例
県議会

国の状況もあり、まだ不透明だが、皆さんの声を聞きながら、国に要請していきたい」と答えました。

「山形県ともども、加した母親は、大変助かっていたのに、小学生になるまで医療費がかかるようになる。ぜひ、対象を小学生まで広げてほしい」と要望しました。これに対し、酒井俊昭・国保主幹は「所得制限や一部負担金は、ある程度必要と考えている。対象年齢の引き上げについては、実施している自治体の状況など勉強している」と。国への制度化の要望を、これももやもやしたが、今後おこなっていく」と述べました。

「山形県ともども、加した母親は、大変助かっていたのに、小学生になるまで医療費がかかるようになる。ぜひ、対象を小学生まで広げてほしい」と要望しました。これに対し、酒井俊昭・国保主幹は「所得制限や一部負担金は、ある程度必要と考えている。対象年齢の引き上げについては、実施している自治体の状況など勉強している」と。国への制度化の要望を、これももやもやしたが、今後おこなっていく」と述べました。

「山形県ともども、加した母親は、大変助かっていたのに、小学生になるまで医療費がかかるようになる。ぜひ、対象を小学生まで広げてほしい」と要望しました。これに対し、酒井俊昭・国保主幹は「所得制限や一部負担金は、ある程度必要と考えている。対象年齢の引き上げについては、実施している自治体の状況など勉強している」と。国への制度化の要望を、これももやもやしたが、今後おこなっていく」と述べました。

継続した運動 前進の力に

県内の乳幼児医療費助成事業は、それぞれ自治体で前進してきています。対象年齢については、小学6年生までの東根市や大江町、小学3年生までの花沢市というように、小学生にまで広げつつ出てきています。

全国も同様です。子育て世帯の運動が、継続しているからに他なりません。日本共産党国会議員団も、国に向けて奮闘しています。私もいつそ、県政の場で関係者の方々と協力して運動を広げていきたいと思っています。

「山形県ともども、加した母親は、大変助かっていたのに、小学生になるまで医療費がかかるようになる。ぜひ、対象を小学生まで広げてほしい」と要望しました。これに対し、酒井俊昭・国保主幹は「所得制限や一部負担金は、ある程度必要と考えている。対象年齢の引き上げについては、実施している自治体の状況など勉強している」と。国への制度化の要望を、これももやもやしたが、今後おこなっていく」と述べました。

「山形県ともども、加した母親は、大変助かっていたのに、小学生になるまで医療費がかかるようになる。ぜひ、対象を小学生まで広げてほしい」と要望しました。これに対し、酒井俊昭・国保主幹は「所得制限や一部負担金は、ある程度必要と考えている。対象年齢の引き上げについては、実施している自治体の状況など勉強している」と。国への制度化の要望を、これももやもやしたが、今後おこなっていく」と述べました。

- 3日から18日までの会期です。
- 8日(月) 本会議、代表質問
 - 9日(火) 本会議、一般質問
 - 10日(水)～11日(木) 各常任委員会、各特別委員会
 - 12日(金) 各特別委員会
 - 15日(月)～17日(水) 予算委員会
 - 18日(木) 本会議

食と健康を学び 収穫を祝うつどい



交流会に参加するゆり子嬢議

11月29日、山形県食糧連主催のつどいに参加しました。食と健康について、小川裕先生(しるし)に診療所医師の話聞き、今年度のグリーンウェイ行動の各地の取り組み報告を受け、いも煮で交流しました。山形の農産物を育て大切に、それを味わいたいという方々の集まりです。おいしいも煮と漬物は、みんなの思いがこもっています。食糧自給率向上の世界

山形県民医連の介護つどいで活躍のつどいに出席しました。11月29日、山形県食糧連主催のつどいに参加しました。食と健康について、小川裕先生(しるし)に診療所医師の話聞き、今年度のグリーンウェイ行動の各地の取り組み報告を受け、いも煮で交流しました。山形の農産物を育て大切に、それを味わいたいという方々の集まりです。おいしいも煮と漬物は、みんなの思いがこもっています。食糧自給率向上の世界

ゆり子の視点

山形県民医連の介護つどいで活躍のつどいに出席しました。11月29日、山形県食糧連主催のつどいに参加しました。食と健康について、小川裕先生(しるし)に診療所医師の話聞き、今年度のグリーンウェイ行動の各地の取り組み報告を受け、いも煮で交流しました。山形の農産物を育て大切に、それを味わいたいという方々の集まりです。おいしいも煮と漬物は、みんなの思いがこもっています。食糧自給率向上の世界

論も追い風に、「健康でさらにはがんばろう」と誓いあっています。食糧自給率向上の世界

介護現場の声を聞いて

「介護職は低賃金で重労働、ボーナスはわずかです。こういふところこそ、国はもっと予算をつかってほしい」という共通の思いが広がっています。

「介護職は低賃金で重労働、ボーナスはわずかです。こういふところこそ、国はもっと予算をつかってほしい」という共通の思いが広がっています。

講演する小川先生